

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、新たな検査項目の受託開始について、下記の通りご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。
謹白

記

■ 受託開始日 2024年4月25日(木) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
OU43 9	サイトケラチン 18フラグメント (CK-18F) 5D326-0000-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00 (X)	凍結 (31日)	3~9	194 ※4	EIA	260未満 (カットオフ値) (U/L)	非アルコール 性脂肪肝炎 (NASH) の 診断補助のた めのカットオ フ値は 260U/Lで す。 &1

※4：生化学的検査（I）判断料



● サイトケラチン18フラグメント（CK-18F）

本検査は予後不良なNASHの鑑別および侵襲性を伴う肝生検の絞り込みに有用とされます。

非アルコール性脂肪性肝疾患（Nonalcoholic Fatty Liver Disease：NAFLD）は、アルコールやウイルス、薬物などを原因としない脂肪肝の総称で、病態がほとんど進行しない非アルコール性脂肪肝（Nonalcoholic Fatty Liver：NAFL）と進行性の非アルコール性脂肪肝炎（Nonalcoholic Steatohepatitis：NASH）があります。

肝細胞のアポトーシスにより断片化され、血中に放出されるサイトケラチン18フラグメント（Cytokeratin 18 fragment：CK-18F）は、健常者やNAFLと比較してNASHで有意に高値となることやNASHの特徴である風船様変性や炎症を反映していることが報告されています。

本検査は予後不良なNASHの鑑別および侵襲性を伴う肝生検の絞り込みに有用とされます。

▼疾患との関連

非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）
非アルコール性脂肪性肝炎（NASH）

▼関連する主な検査項目

Ⅳ型コラーゲン・7S、オートタキシン
Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体（M2BPGi）
プロコラーゲンⅢペプチド（P-Ⅲ-P）

▼検査要項

検査項目名	サイトケラチン18フラグメント（CK-18F）
項目コード	OU43 9
検体量	血清 0.3 mL
容器	S09 →A00 (X) ポリスピッツ
保存方法	必ず凍結保存してください
所要日数	3～9 日
検査方法	EIA
基準値（単位）	260未満（カットオフ値） (U/L)
報告範囲（単位）	125未満、125～99900000 (U/L)
桁数	有効3桁、整数8桁、小数0桁
検査実施料	①② 194点 （「D007」血液化学検査「48」） 令和6年診療報酬改定に伴う新区分：「D007」血液化学検査「50」
判断料	144点（生化学的検査（I）判断料）
備考	非アルコール性脂肪性肝炎（NASH）の診断補助のためのカットオフ値は260U/Lです。 &1

①「サイトケラチン18フラグメント（CK-18F）」は、1ステップのサンドイッチ法を用いた酵素免疫測定法により、非アルコール性脂肪性肝疾患の患者（疑われる患者を含む。）に対して、非アルコール性脂肪性肝炎の診断補助を目的に実施した場合は、「オートタキシン」を準用して算定する。

②「プロコラーゲン-Ⅲ-ペプチド（P-Ⅲ-P）」、「Ⅳ型コラーゲン」、「Ⅳ型コラーゲン・7S」、「ヒアルロン酸」、「Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体」又は「オートタキシン」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

●参考文献

Tada T, et al：Eur J Gastroenterol Hepatol 33（11）：1451～1458, 2021.
（臨床的意義参考文献）